

# サーフタウン日向 基本構想



平成 29 年 11 月





## 目次

序．はじめに.....	1
構想策定の趣旨と目的.....	1
将来の“サーフタウン日向”のイメージ.....	2
1．現状と課題の整理.....	3
1 - 1．日向市のサーフィン動向.....	3
1 - 2．市内サーフスポットの概況.....	4
1 - 3．サーフタウン日向の実現に向けた課題.....	5
2．サーフタウン日向の取組方針.....	9
2 - 1．基本理念.....	9
2 - 2．基本目標及び数値目標.....	10
3．サーフタウン日向に向けた振興施策.....	11
振興施策・取り組み.....	11
4．ビーチスポットプロジェクト.....	12
4 - 1．サーフタウン日向の実現に向けた基本的な考え方.....	12
4 - 2．新たなビーチスポット整備に向けた基本的な考え方.....	13
4 - 3．候補地選定.....	14
4 - 4．ゾーニングと導入機能.....	15
4 - 5．整備イメージ図.....	16
5．リーディングプロジェクト.....	17
5 - 1．リーディングプロジェクトの考え方.....	17
5 - 2．リーディングプロジェクト.....	18
5 - 3．行動計画.....	20
6．取り組みの実行体制・進行管理・評価の方法.....	24
6 - 1．実施スケジュール.....	24
6 - 2．事業手法の検討.....	25
6 - 3．進行管理.....	26
6 - 4．実行体制.....	27
6 - 5．実現に向けた今後の課題.....	28
参考資料.....	29





## 序. はじめに

### 構想策定の趣旨と目的

日向市は、地方創生の取り組み方針「元気な“日向市”未来創造戦略」の一環として、「お倉ヶ浜」や「金ヶ浜」をはじめとした全国屈指のサーフスポットを有する本市ならではの魅力を発信するプロジェクト「リラックス・サーフタウン日向」を平成28年12月1日より始動しています。

今回の「リラックス・サーフタウン日向」プロジェクトは、温暖な気候や豊かな自然環境という当市の特性を生かした地域活性化として、市外からの交流人口や移住者の増加を目指します。また、サーフィンを楽しみながら働きたい、学びたいという方に情報提供や相談体制・サポート体制を構築し、地方創生や定住人口の増加を図ることを目的としています。

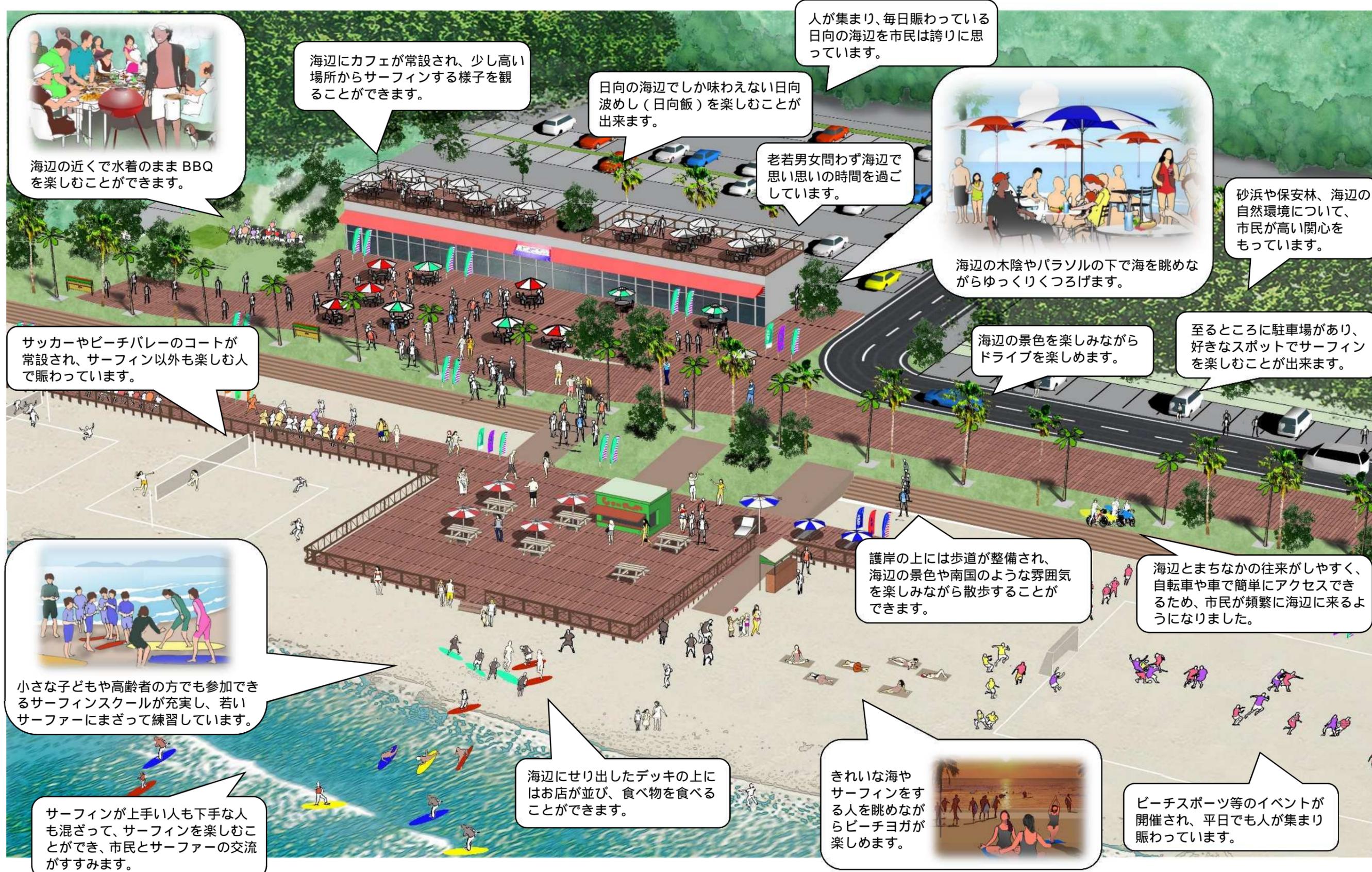
当市の海は、水温が温かく、一年を通して楽しめる質のよい波に、ゆったりと広いビーチがあるのが特長で、喧騒から離れてのんびりとサーフィンを楽しみたいという方に最適な場所です。そんな地域の魅力を、市町外に暮らす方にも知ってもらうために、様々なコンテンツを通じて情報発信し、「リラックス・サーフタウン日向」を訴求していきます。

本構想では、この恵まれたサーフィン環境を活用して、サーフィンから地域経済の活性化につなげるため、現状の課題の整理、将来の整備方針、新たな利用客の掘り起し策、観光消費額の増加策、サーフィン・海をきっかけとした移住促進策などを、市民、観光事業者、有識者等を含めた策定会議などで議論し、将来のサーフィンやその他ビーチレジャー等の環境整備について、ソフト・ハードの双方から策定しています。

平成29年11月  
日向市長 十屋 幸平



### 将来の“サーフタウン日向”のイメージ



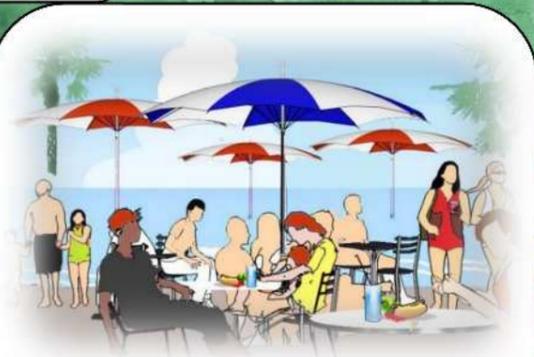
海辺の近くで水着のまま BBQ を楽しむことができます。

海辺にカフェが常設され、少し高い場所からサーフィンする様子を観ることができます。

日向の海辺でしか味わえない日向波めし（日向飯）を楽しむことができます。

人が集まり、毎日賑わっている日向の海辺を市民は誇りに思っています。

老若男女問わず海辺で思い思いの時間を過ごしています。



海辺の木陰やパラソルの下で海を眺めながらゆっくりくつろげます。

砂浜や保安林、海辺の自然環境について、市民が高い関心をもっています。

サッカーやビーチバレーのコートが常設され、サーフィン以外も楽しむ人で賑わっています。

海辺の景色を楽しみながらドライブを楽しめます。

至るところに駐車場があり、好きなスポットでサーフィンを楽しむことができます。



小さな子どもや高齢者の方でも参加できるサーフィンスクールが充実し、若いサーファーにまざって練習しています。

護岸の上には歩道が整備され、海辺の景色や南国のような雰囲気を楽しみながら散歩することができます。

海辺とまちなかの往来がしやすく、自転車や車で簡単にアクセスできるため、市民が頻繁に海辺に来るようになりました。

サーフィンが上手い人も下手な人も混ざって、サーフィンを楽しむことができ、市民とサーファーの交流がすすみます。

海辺にせり出したデッキの上にはお店が並び、食べ物を食べることができます。

きれいな海やサーフィンをする人を眺めながらビーチヨガが楽しめます。



ビーチスポーツ等のイベントが開催され、平日でも人が集まり賑わっています。



# 1. 現状と課題の整理

## 1-1. 日向市のサーフィン動向

### (1) サーフィン利用実態

- ・サーフィン等の利用客数は平成18年の約8万人から、平成27年には約23万人と、この10年間で約15万人も増加。
- ・しかしサーフィンや海水浴以外での利用に乏しく、シーズン以外の時期は閑散としている。
- ・お倉ヶ浜の駐車場は、夏季は満車になるなど受け入れ体制が不十分。

### (2) サーフィンを活かしたプロモーション活動

- ・ネットサーファーがリアルサーファーになるPR動画が全国で話題になるなど、日向の知名度が向上。
- ・「ヒュー！日向」サイトを開設し、波に関する情報等を発信。
- ・PRキャラのヒューちゃんとBEAMSがコラボしたグッズ販売など、サーフトアウンのプロモーション活動が活発化



### (3) 世界的なサーフィンの大会の誘致

- ・東京オリンピック追加種目にサーフィンが採用される等、サーフィンに注目が集まっている。
- ・日向市においても世界ジュニアサーフィン選手権が今年9月、10月に開催される等、今後、「HYUGA = サーフィン」としての注目度が高まる。





## 1 - 2 . 市内サーフスポットの概況

日向市内の既存のサーフスポット（伊勢ヶ浜、お倉ヶ浜、金ヶ浜）について以下に整理する。

	伊勢ヶ浜	お倉ヶ浜	金ヶ浜
写真（場所）			
写真（環境）	 	 	 
アクセス	日向 IC から車で 6 分程度	日向 IC から車で 2 分程度	日向 IC から車で 8 分程度
サーフィン環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッカー、トイレ、シャワー完備</li> <li>・駐車場（82 台）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッカー、トイレ、シャワー完備</li> <li>・駐車場（計 307 台）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ、シャワー完備</li> <li>・駐車場なし（私営駐車場のみ）</li> </ul>
浜の全長	約 200m	約 4.0 km 浜の南側一部がビーチスポットとして利用されている	約 1.0 km 浜の南側一部がビーチスポットとして利用されている
浜へのアクセス道路	駐車場から浜へは舗装された階段でアクセス可能	駐車場から浜へは護岸（階段状）でアクセス可能	民宿の駐車場からビーチハウスへアクセス可能（細い道のため大勢の通行は不可）
利用状況	15,220 人（2015 年） 夏季の海水浴利用がメイン	180,225 人（2015 年） サーフィンと夏季の海水浴利用がメイン	31,450 人（2015 年） サーフィンと夏季の海水浴利用がメイン
周辺環境	大御神社、クルスの海、馬ヶ背等の観光資源が近接	お倉ヶ浜総合運動公園と近接、他スポーツとの連携が容易	特になし



### 1 - 3 . サーフトOWN日向の実現に向けた課題

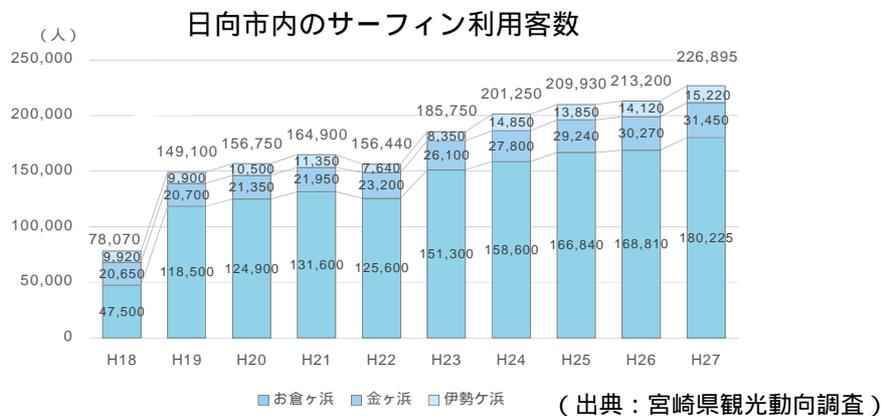
#### 課題 1 . サーフィン利用者の受け皿づくり

- ・サーフィン等の利用客数は平成 18 年の約 8 万人から、平成 27 年には約 23 万人と、この 10 年間で約 15 万人も増加。
- ・現在、お倉ヶ浜の駐車場（307 台）も GW や夏季には満車となる。
- ・東京オリンピック追加種目にサーフィンが採用される等、サーフィンに注目が集まっている。
- ・日向市においても世界ジュニアサーフィン選手権が今年 9 月に開催される等、今後、「HYUGA = サーフィン」としての注目度が高まる。
- ・一方で、お倉ヶ浜の認知度は木崎浜と比べると 10 ポイント近く低い。
- ・また、日向市のサーフスポットの印象として、「波がいい」「海水が温かい」「晴天」といったイメージが強い一方で、「混雑が少ない」「のんびりできそう」といったイメージは弱いという声もある。

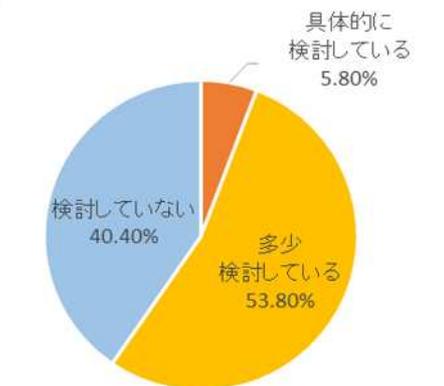
**世界選手権開催等による一時的な知名度向上やブームに終わらせることなく、これをきっかけとして、継続的にサーファーが訪れ利用できる受け皿づくりが重要。**

- ・また、サーファーの 6 割近くが移住意向を持っており、一般層の移住意向と比べると顕著に高い。

**サーフィンをしながら生活が送れる環境を整える等、サーファーの移住施策にも取り組む必要がある。**



サーファーの日向市サーフスポットの印象 (出典：市資料)



サーファーの移住意向 (出典：市資料)

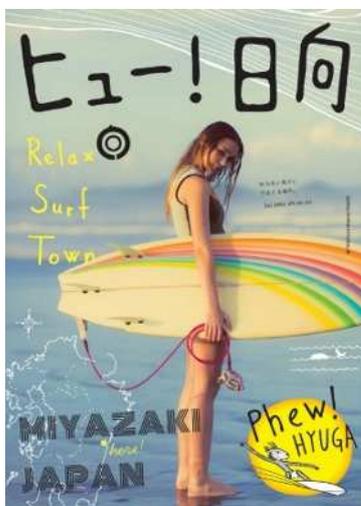
## 課題 2 . 多様な楽しみ方ができる環境づくり

- ・日豊海岸は、リアス式海岸と白砂青松が交互に連なる、日向市を代表する地域資源であり、日豊海岸国定公園に指定されている。
- ・お倉ヶ浜は日本の渚 100 選に選ばれており、多くのサーフィン利用客、海水浴客が訪れる等人気が高い。
- ・一方で、サーフィンや海水浴以外での利用に乏しく、波がないときや夏以外に海辺を楽しめる設備がないため、通年での利用はなかなか見られない。
- ・お倉ヶ浜に必要な施設として、「飲食店・自販機」が挙げられるなど、快適性を提供する施設が不足している。
- ・サーフィンと合わせた楽しみとして「温泉」「キャンプ」などが挙げられている。
- ・サーフィンを中心としたプロモーション活動により、サーフィンだけでなく日豊海岸そのものにも注目が集まっている。

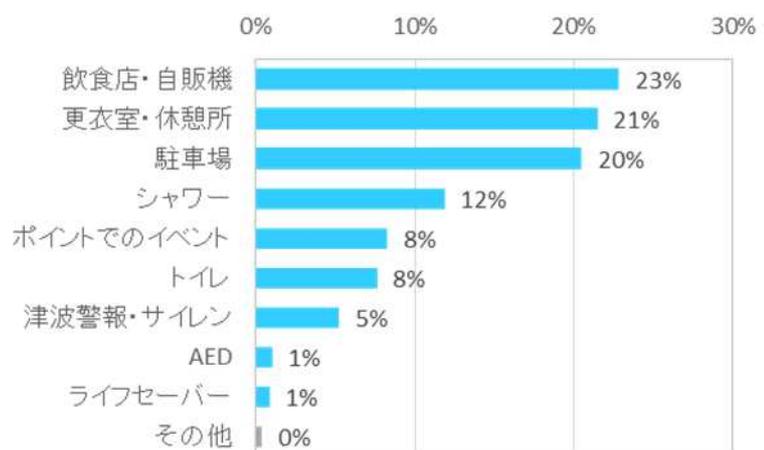
**サーフィンによる知名度向上に併せ、サーフィン以外でも多様な楽しみ方ができる環境づくりが必要。**



ヒュー！日向 PR ムービー



ヒュー！日向 PR ポスター



お倉ヶ浜に必要なと思う施設（出典：宮崎県資料）

### 課題3 . サーフトOWN日向の取組みの市全体への波及

- ・本市には、馬ヶ背や大御神社、美々津、牧水の里をはじめ、多様な観光資源が各地に点在しており、観光客数も年々増加している。
- ・一方、観光客のうち日帰り客が9割以上を占め、宿泊客は1割未満。
- ・サーフィンを目的にお倉ヶ浜を訪れる観光客の8割近くが県外客であるものの、サーフィン以外は何もせずに帰る観光客（9割以上）が多い。
- ・サーファー客のうち5割以上が車中泊であり、民宿・ホテル・旅館に宿泊するのは2割程度と少ない。
- ・一方、県外から来られるサーファーの一人当たり観光消費額は日向市では約2万円で、宮崎市（木崎浜）の約3分の1。
- ・変化に富む海岸線の魅力を体感できる空間としての整備、景観づくりが十分ではない。
- ・日向市へのアクセス手段は公共交通機関（JR・高速バス）もあるものの、海辺までのアクセス性が低く利用者が少ない状況。

**日豊海岸を楽しむ観光客が訪問し、滞在したくなる環境を整える必要がある。**

**サーフトOWN日向の取組みを、日豊海岸だけではなく、周辺地域と連携し、市内全体へと波及させることが重要である。**



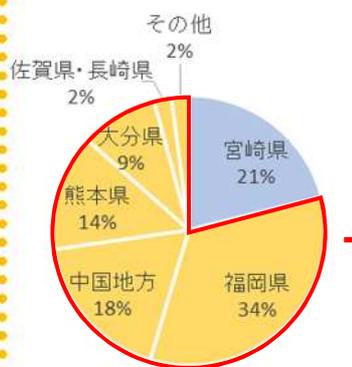
大御神社



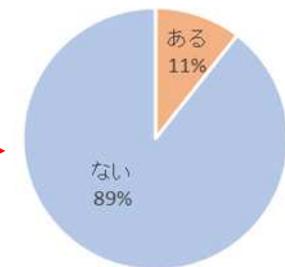
馬ヶ背



日帰り客・宿泊客の割合（出典：観光推進計画）



お倉ヶ浜のサーファー居住地（出典：県資料）



宮崎県外サーファーの立ち寄り場所（観光地等）（出典：県資料）



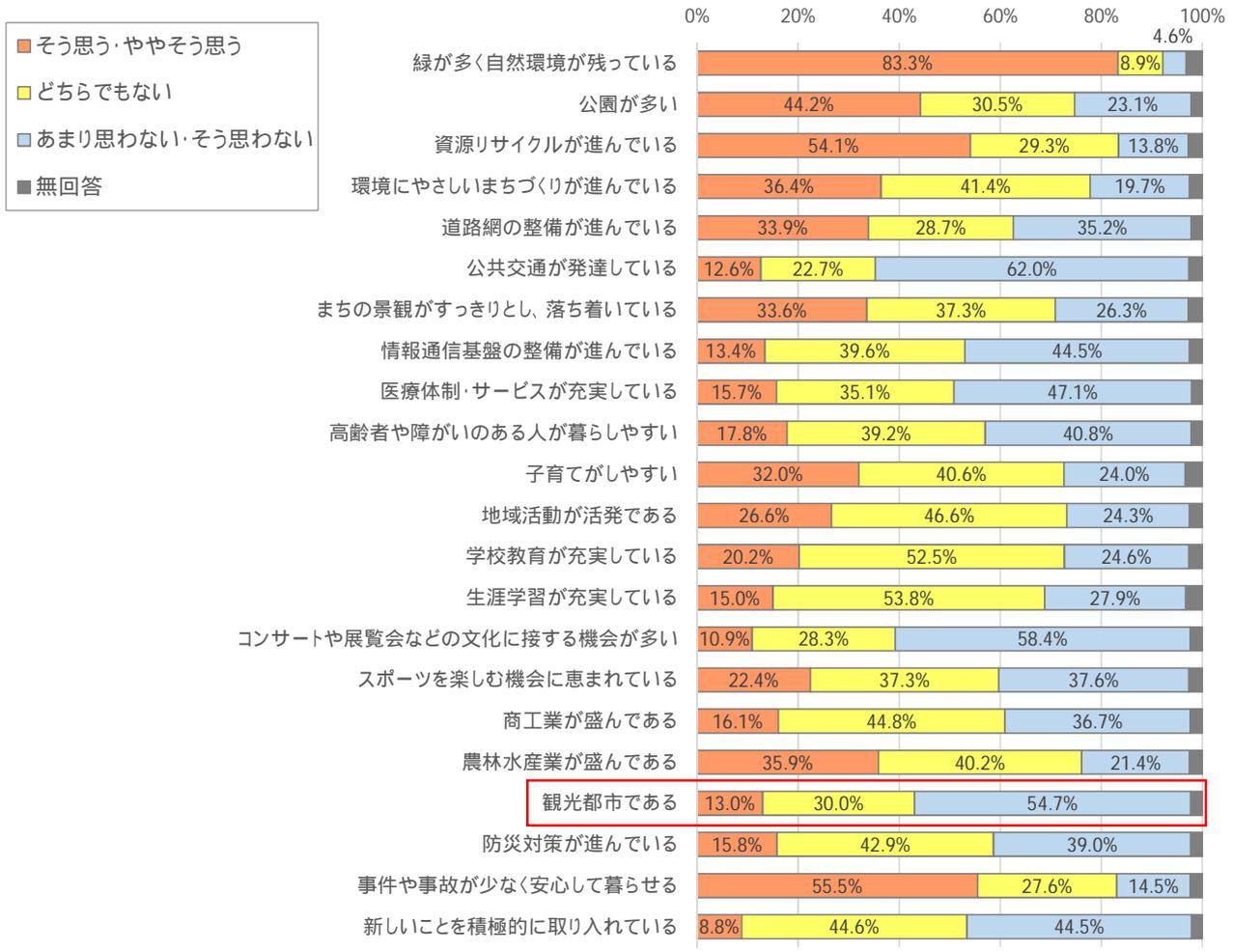
一人当たりの推計消費額（出典：県資料）



## 課題4 「リラックスサーフタウン日向」の実現に向けた市民の機運醸成、実行体制の構築

- ・市民や観光客が海を身近に感じられる環境になっていない。
- ・浜辺に関わる催しが少なく、また「海岸＝危険な場所」として認知され、市民が海と触れ合う機会が少ない。
- ・市民において、日向市が観光都市であるイメージが低い。  
(あまりそう思わない・そう思わないが5割以上)
- ・市民の地域づくりへの参加率は2割程度だが、7割程度が日向市への愛着・誇りを感じている。
- ・「リラックスサーフタウン日向」の取り組みは、行政だけではなく、事業者や市民も参画する市全体を挙げての取り組みである。

**「サーフタウン日向」の実現に向けては、市民や事業者の日向の海への関心を高めつつ、具体的な取り組みを実行していくための体制の構築が求められる。**



観光都市イメージ (出典：人口ビジョンアンケート)



## 2. サーフトウン日向の取組方針

### 2 - 1 . 基本理念



## 「リラックス・サーフトウン日向」

全国屈指のサーフスポットを有する日向市が、サーフィン環境の充実、海辺のリラックス環境のパワーアップにより滞在人口の増加、観光消費額の増大等の地域活性化に取り組みます。

## 2 - 2 . 基本目標及び数値目標

基本理念の達成に向けた基本目標、数値目標を以下に示す。

課題	基本目標	数値目標
<p><b>サーフィン利用者の受け皿づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界選手権開催等による一時的な知名度向上やブームに終わらせることなく、これをきっかけとして、継続的にサーファーが訪れ利用できる受け皿づくりが重要。</li> <li>サーフィンをしながら生活が送れる環境を整える等サーファーの移住施策にも取り組む必要がある。</li> </ul>	<p><b>基本目標 1 . 世界から人が集まる“サーフィンのメッカ 日向”</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日向の海にあこがれて世界からサーファーが集まり、ローカル・ビジター・ビギナー、老若男女それぞれがかっこよくサーフィンができる“サーフィンのメッカ”を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーフィン等利用客数 平成 31 年度：25.2 万人<sup>1</sup> 平成 27 年度（実績値）：22.7 万人</li> <li>新たな移住者数 平成 31 年度：200 人<sup>1</sup></li> <li>市内宿泊客数 平成 31 年度：18 万人<sup>1</sup> 平成 26 年度（実績値）：15.1 万人</li> </ul>
<p><b>多様な楽しみ方ができる環境づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サーフィンによる知名度向上に併せ、サーフィン以外でも多様な楽しみ方ができる環境づくりが必要。</li> </ul>	<p><b>基本目標 2 . 思い思いに日豊海岸を楽しめる“私流リラックスタウン”</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マリンレジャーやビーチスポーツをはじめ、波の音や潮風、木々の香り、海辺の風景を感じながらの散歩、カフェでの会話や読書、波打ち際で楽しむ子どもたち、仲間との打ち上げなど、日豊海岸を訪れる日向市民や世界の人々が、それぞれ思い思いに日豊海岸を楽しむとともに、日豊海岸での楽しみが暮らしのなかに溶け込む“私流リラックスタウン”を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お倉ヶ浜利用客数 平成 32 年度：23 万人 平成 27 年度（実績値）：18 万人</li> <li>一人当たり消費額 平成 32 年度：2530 円 平成 26 年度：（実績値）：1570 円</li> </ul>
<p><b>サーフタウン日向の取組みの市全体への波及</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日豊海岸を楽しむ観光客が訪問し、滞在したくなる環境を整える必要がある。</li> <li>サーフタウン日向の取組みを、日豊海岸だけではなく、周辺地域と連携し、市内全体へと波及させることが重要である。</li> </ul>	<p><b>基本目標 3 . 食、文化、自然、人を活かした“オール日向でリラックス”</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>滞在機能の強化や沿道から楽しめる美しい日豊海岸の景観づくり、駅などから海岸部へのアクセス性の向上など、アクセスしやすく居心地のよい空間づくりを目指します。</li> <li>また、サーフィンや日豊海岸で楽しむだけではなく、日向の食を味わい、文化を学び、自然を体感し、日向の温厚で親切な人柄に触れ、また日向に行きたくなるよう、“オール日向でリラックス”づくりを目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光入込客数 平成 32 年度：168.4 万人<sup>2</sup> 平成 26 年度（実績値）：136.1 万人</li> <li>観光消費額 平成 32 年度：42.6 億円 平成 27 年度：（実績値）：23.0 億円</li> </ul>
<p><b>「リラックスサーフタウン日向」の実現に向けた市民の機運醸成、実行体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「サーフタウン日向」の実現に向けては、市民や事業者の日豊海岸への関心を高めつつ、具体的な取り組みを実行していくための体制の構築が求められる。</li> </ul>	<p><b>基本目標 4 . 市全体でリラックスサーフタウン日向を実現していく“チームづくり”</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の日豊海岸に対する愛着や、サーフィン等に対する理解を深めるとともに、行政だけではなく、市民や事業者も一緒になり、市全体でリラックスサーフタウン日向を実現していく“チームづくり”を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海辺の教室の参加者数 （サーフィン教室、安全教室等） 平成 32 年度：100 人</li> <li>「ヒュー日向！」HP の閲覧件数 平成 32 年度：40 万件</li> </ul>

<sup>1</sup> 「元気な“日向市”未来創造戦略」より

<sup>2</sup> 「新しい日向市観光推進計画」より

### 3. サーフタウン目向に向けた振興施策

基本目標	基本方針	新規事業	振興施策・取り組み（青文字：策定会議でた意見）	役割分担		
				行政	事業者・団体	市民
基本目標1. 世界から人が集まる “サーフィンのメッカ 日向”	1-1 世界に誇れるサーフィンの拠点づくり		サーフスポットの拡充（駐車場の拡張、ビーチハウス整備） サーフスポット同士の動線の確保（ボードウォークや歩道の整備）			
	1-2 海岸を安全に気持ちよく利用するためのルールづくり		海辺のエリア分けや津波発生時の避難先の周知（看板の設置等） マナーに関するルールづくり（ビーチクリーンの実施等）			
	1-3 国内外の「日向ファン」に来てもらうための取り組み		国内外のサーフィン大会・合宿の誘致 サーフィン体験プログラムの実施（ビギナー向けサーフィンスクール）			
	1-4 移住の受け入れに向けた環境づくり		サーファー移住相談会の開催（都市部での移住相談会） 移住促進に向けたお試し移住の実施（お試し移住拠点、サーファーズハウスの整備） 市内企業におけるサーファーの働きやすい就労環境の整備			
基本目標2. 思い思いに日豊海岸を楽しめる “私流リラクスタウン”	2-1 誰もが日豊海岸を楽しめる海辺の環境づくり		憩いの場の創出（木陰や休憩場所、催し物スペースの整備、飲食店やカフェ等の民間企業の誘致） 多様なレジャーの場の創出（ビーチスポーツ、マリトレジャー、ヨガ、キャンプ、BBQ等の環境整備） 人が集う場の創出（イベント広場の整備） 散策ルートの形成（ウォーキング、トレッキング等の動線整備）			
	2-2 海辺の環境を活かしたイベントの開催		ビーチイベントの開催（ビーチスポーツ体験プログラムの提供・開催） スポーツイベントの開催（お倉ヶ浜総合公園と連携したイベント等） 音楽イベントの開催 食と絡めたイベントの開催（数店舗まわられるパルの実施、弁当チャレンジショップ等）			
	2-3 私流リラクスタウンを支えるサービスの向上		ビーチに関するイベント情報の整理・集約・発信（ビーチカレンダーの作成等） 管理事務所、ビーチスポーツの用具貸出・用具庫の整備（パラソル、浮き輪、テーブル等の貸出） 市内飲食店デリバリー制度の導入（市内飲食店の一括予約注文と配達システムの確立） ビーチナーサリーの導入（海辺の子ども一時預かり場所の設置等） 海辺のネット環境の構築（wi-fi環境の充実）			
	3-1 海岸へのアクセス性・周辺地域との回遊性の向上		日向ICから浜辺までのアクセス確保（サインの充実等） 公共交通による来訪者のアクセス性の確保（観光タクシー運行助成の拡充等） ビーチスポット間、市内観光地間、中心市街地間のアクセス強化（サインの整備、移動手段の充実等） 日豊海岸らしい景観の形成や演出（眺望確保、誘導サインの統一等）			
	3-2 思わず立ち寄り、泊まり、また来たくなる環境づくり		日豊海岸で楽しめる食の開発（日向波めし（日向飯）日豊海岸パージョン等） サーファー向けの宿泊施設、宿泊プランの整備（浜直結ホテル、ホテルにサーフボードが置けるスペースの整備、宿泊とサーフィン体験がセットになった宿泊プランの提供等） 市内宿泊施設の充実（観光客を対象としたホテル等の誘致等） 宿泊施設に対するリフォーム助成金の導入			
	3-3 タイアップによるサーフィン等を活かした商品開発		公共交通機関とのタイアップによる企画乗車券等の開発 海辺学習やサーフィン体験を盛り込んだ修学旅行の誘致 サーフィンと市内観光地を絡めたツアーの企画 海辺を活かしたスポーツ合宿のための環境整備			
基本目標4. 市全体でリラックスサーフタウン 日向を実現していく “チームづくり”	4-1 サーフィン人口の拡大・海に対する理解の浸透		市民サーファーの育成（小・中学校等でのサーフィン教室の開催） 環境学習の実施（日豊海岸/アカウミガメ/ハマグリと碇石/漂流物等） 海の安全学習の実施（安全講習、避難訓練等の実施） サーフィンを推奨する事業所等への支援			
	4-2 市民参加型による海辺イベントの開催		市民参加による日向市のPR（ギネス記録への挑戦） 市民総出によるビーチクリーンの実施 リラックスサーフタウン日向のブランディング（グッズ、コラボ商品開発等）			
	4-3 世界に向けた「リラックスサーフタウン日向」の発信		「ヒュー日向！」HPの継続的な更新 SNS、VR技術等を活用したPR クルーズ船の観光客や乗組員へのPR 新たな情報発信ツールの構築（市内の情報が集約されたマップやパンフレットの作成、市民レポーターズの採用等）			
	4-4 リラックスサーフタウン日向の実行体制の構築		実行体制の構築（策定会議メンバーを中心とした実行体制/事務局機能の構築/情報共有・取り組みの実行・進捗管理・構想の見直し）			



## 4. ビーチスポットプロジェクト

### 4 - 1 . サーフトOWN日向の実現に向けた基本的な考え方

行政を中心に行うハード整備を重点的に行う「ビーチスポットプロジェクト(本章)」と、事業者・民間企業や市民を中心に行う「リーディングプロジェクト(次章)」を両方実行することにより、本構想の目指す“サーフトOWN日向”実現を推進する。



本章ではビーチスポットプロジェクトについて説明し、今後のサーフトOWN日向に向けたハード整備の方針について記載する。



#### 4 - 2 . 新たなビーチスポット整備に向けた基本的な考え方

新たなビーチスポット整備にあたっては、以下の基本的な考え方に基づき整備を行う。

- 1 . 今後短期的に増加が予想されるサーフィン人口に対応するため、駐車場やビーチハウス等の海水浴場周辺の利用環境を充実させる。
- 2 . 新たなサーフィン利用者及びサーフィン以外の観光客・レクリエーション客を積極的に呼び込むため、飲食店や広場等、憩いの空間を整備する。
- 3 . サーフィン未利用地へ利用者を波及させるとともに、駐車場やビーチハウスを点在させ、増加する利用者を分散させるとともに、長期的な利用客確保に向けた施設整備を行う。
- 4 . 海岸沿いの保安林の機能を活かしながら、ビーチ・保安林・背後地を含めた一帯での賑わいを創出する。
- 5 . 津波等の大規模災害発生に備え、防災拠点の整備を図る。
- 6 . 分散されたサーフスポットをつなぐ動線を整備し、各拠点間のアクセス性を高める。



### 4 - 3 . 候補地選定

今後の展開余地等から、新たなビーチスポット整備を行う候補地を選定する。

	伊勢ヶ浜	お倉ヶ浜	金ヶ浜
浜の拡張性	×	(未利用部分あり)	(未利用部分あり)
活用可能な公有地の有無			×
駐車場の確保	×	(未利用部分あり)	× (公設駐車場無し)
新たなアクセス道路	× (既存道路のみ)		× (既存道路のみ)

伊勢ヶ浜には

駐車場等の拡張に活用できる面積が少なく、またビーチスポットを整備しても新たに活用できる浜のスペースがないため、安全性や快適性の面で懸念があることから、新たなビーチスポットの整備箇所としては不適である。

お倉ヶ浜は

北側の浜への拡張性が高いこと、駐車場の整備等による受け皿づくりが可能なこと、お倉ヶ浜総合公園裏など新たなアクセス道路整備の可能性があること等を勘案すると、新たなビーチスポットの整備箇所として適当である。

金ヶ浜は

北側の未利用部分があるものの、公設の駐車場が無く、新たな駐車場を整備できる余地も少ない。また、浜へのアクセス道路が既存のルートに限られることから、新たなビーチスポット整備箇所としては不適である。

以上より、お倉ヶ浜を整備の候補地として、  
新たなビーチスポット整備を検討する。

#### 4 - 4 . ゾーニングと導入機能

ビーチスポットを今後整備するにあたり、次のようなゾーニングと導入機能を想定する。

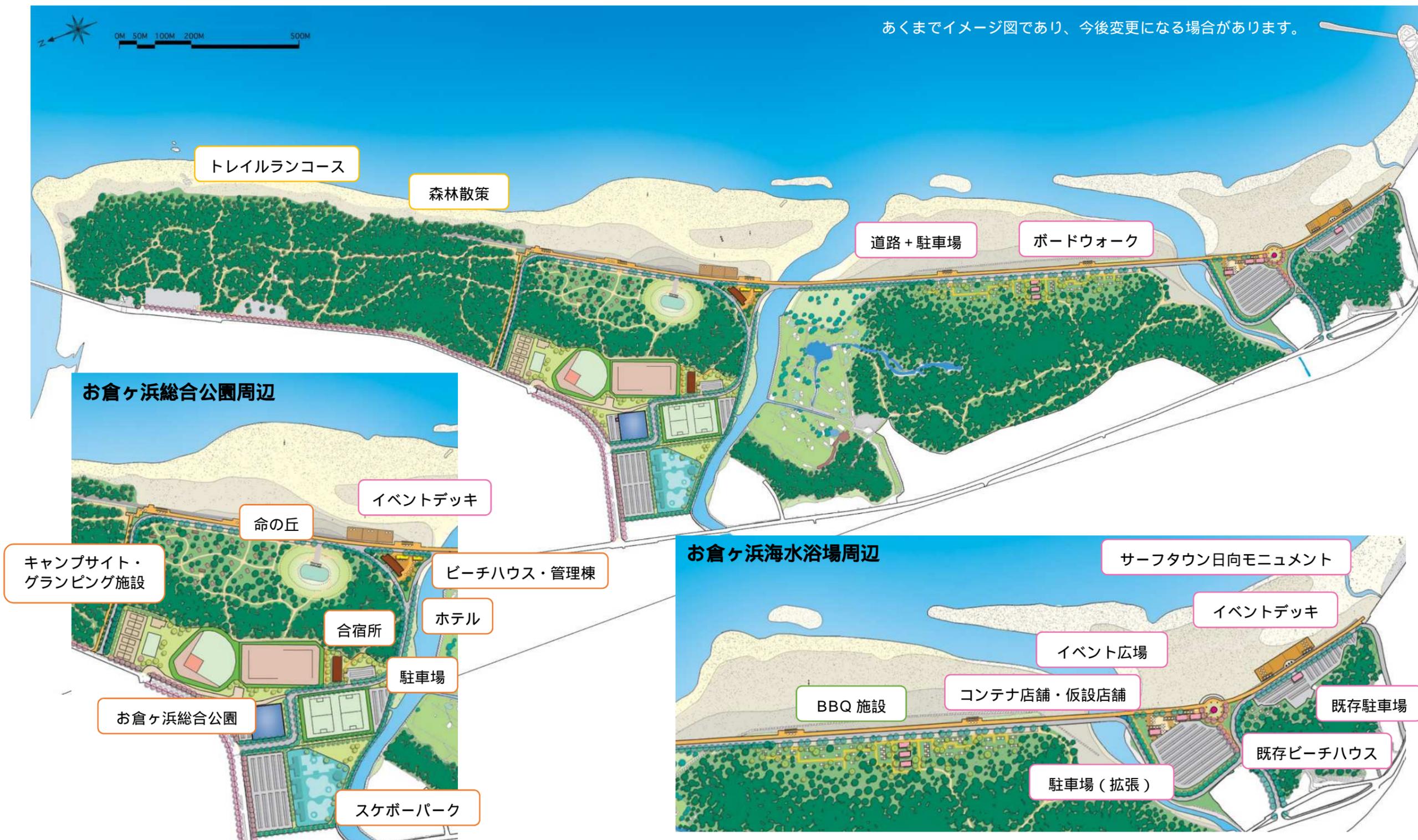


ゾーン	森林レジャーゾーン	公園連携ゾーン	憩いの自然ゾーン	ビーチレジャーゾーン	マリンレジャーゾーン
ゾーンの配置・考え方	森林を活かしたレジャーを楽しめるゾーンとする。	背後に位置するお倉ヶ浜総合公園との連携により、サーフィンだけでなくサーフィン以外の陸上のスポーツを楽しめるゾーン整備を行う。	お倉ヶ浜の背後に位置する保安林を保全しつつ、自然環境を楽しむゾーンを形成する。	既存の駐車場へのアクセス道から最も近く現在も多くの人に利用されるこのゾーンではイベント開催や飲食店の充実等、人が集まるゾーンの形成を目指す。	サーフィンを中心としたマリンレジャーが楽しめるゾーンとする。
既存機能	・既存の散策路	・お倉ヶ浜総合公園	・既存の散策路 ・ゴルフコース	・駐車場（307台） ・ビーチハウス（トイレ・ロッカー・シャワー） ・管理棟	-
導入機能	・トレイルランコース ・森林散策道	・ホテル、合宿所 ・ビーチハウス ・管理棟 ・キャンプサイト、グランピング施設 ・ウミガメ環境学習施設	-	・駐車場（拡張） ・イベント広場 ・店舗（仮設含む） ・ボードウォーク ・道路＋駐車場 ・スタンド（護岸） ・BBQ 施設	-



#### 4 - 5 . 整備イメージ図

ゾーニングと導入機能を踏まえた整備イメージ図を示す。





## 5. リーディングプロジェクト

### 5 - 1 . リーディングプロジェクトの考え方

目に見える成果や成功体験を多くの人と共有し、機運醸成をさらに高め、今後のサーフタウン日向の推進体制構築のきっかけとなる、事業者・市民を中心とする短期間で取り組めるプロジェクトをリーディングプロジェクトとする。



## 5 - 2 . リーディングプロジェクト

### リーディングプロジェクト 01

「サーフィンするなら日向に泊まろう！」

## サーフタウン向上プロジェクト

目的：サーフィン利用客の市内長期滞在・サーフィン関係旅行企画の充実等によるサーフィン利用客の増加、あわせてルールの充実による安全・安心なサーフィン環境の実現

数値目標：サーフィン客数、観光入込客数、市内宿泊客数

関係施策：

- 3-2- 日豊海岸らしい景観の形成や演出（眺望確保、誘導サインの統一等）
- 3-2- サーファー向けの宿泊施設、宿泊プランの整備（浜直結ホテル、ホテルにサーフボードが置けるスペースの整備、宿泊とサーフィン体験がセットになった宿泊プランの提供等）
- 3-3- 公共交通機関とのタイアップによる企画乗車券等の開発
- 3-3- サーフィンと市内観光地を絡めたツアーの企画
- 4-3- 新たな情報発信ツールの構築（市内の情報が集約されたマップやパンフレットの作成、市民レポーターズの採用等）

### リーディングプロジェクト 02

「ビーチのいろんな楽しいを提供しよう！」

## ビーチレジャー展開プロジェクト

目的：ビーチレジャー環境の充実によるサーフィン以外のレジャーも楽しめる海辺の実現、新たな海辺の楽しみ方の認識づけ

数値目標：お倉ヶ浜利用者数、観光消費額

関係施策：

- 1-1- サーフスポットの拡充（駐車場の拡張、ビーチハウス整備）
- 1-2- マナーに関するルールづくり（ビーチクリーンの実施等）
- 1-3- 国内外のサーフィン大会・合宿の誘致
- 2-1- 憩いの場の創出  
（木陰や休憩場所、催し物スペースの整備、飲食店やカフェ等の民間企業の誘致）
- 2-1- 多様なレジャーの場の創出  
（ビーチスポーツ、マリンレジャー、ヨガ、キャンプ、BBQ等の環境整備）
- 2-1- 人が集う場の創出（イベント広場の整備）
- 2-2- ビーチイベントの開催（ビーチスポーツ体験プログラムの提供・開催）
- 2-2- スポーツイベントの開催（お倉ヶ浜総合公園と連携したイベント等）
- 2-2- ビーチに関するイベント情報の整理・集約・発信（ビーチカレンダーの作成等）
- 3-3- 海辺学習やサーフィン体験を盛り込んだ修学旅行の誘致
- 4-1- 環境学習の実施（日豊海岸/アカウミガメ/ハマグリと碁石/漂流物等）
- 4-2- 市民参加による日向市のPR（ギネス記録への挑戦）
- 4-3- 「ヒュー日向！」HPの継続的な更新
- 4-3- SNS等を活用したPR
- 4-3- 新たな情報発信ツールの構築  
（市内の情報が集約されたマップやパンフレットの作成、市民レポーターズの採用等）



## リーディングプロジェクト 03

「食とにぎわいを日向市内へ！」

# 日向波めし（日向飯）開発プロジェクト

目的：海辺への食の導入、日向でしか味わえない食の開発により日向の魅力 PR、またそれらと市内をつなぐ仕組みづくりにより市内への経済波及、市内回遊への波及

数値目標：観光入込客数、観光消費額

関係施策：

- 2-1- 多様なレジャーの場の創出  
(ビーチスポーツ、マリンレジャー、ヨガ、キャンプ、BBQ等の環境整備)
- 2-2- 食と絡めたイベントの開催(数店舗まわられるバルの実施、弁当チャンレンジショップ等)
- 2-3- 市内飲食店デリバリー制度の導入  
(市内飲食店の一括予約注文と配達システムの確立)
- 3-2- 日豊海岸で楽しめる食の開発(日向波めし(日向飯) 日豊海岸バージョン等)
- 4-3- 新たな情報発信ツールの構築  
(市内の情報が集約されたマップやパンフレットの作成、市民レポーターズの採用等)

## リーディングプロジェクト 04

「日向の海をもっと身近に！」

# 日向ビーチファン拡大プロジェクト

目的：市民を対象とした教室やイベントの充実による海辺に対する理解を深め、海辺を生活の一部に取り込む。

数値目標：市内サーフ率、ヒュー日向 HP 閲覧者数

関係施策：

- 2-2- ビーチに関するイベント情報の整理・集約・発信(ビーチカレンダーの作成等)
- 2-3- 管理事務所、ビーチスポーツの用具貸出・用具庫の整備(パラソル、浮き輪、テーブル等の貸出)
- 4-1- 市民サーファーの育成(小・中学校等でのサーフィン教室の開催)
- 4-1- 海の安全学習の実施(安全講習、避難訓練等の実施)
- 4-2- 市民参加による日向市の PR(ギネス記録への挑戦)
- 4-3- 「ヒュー日向！」HP の継続的な更新
- 4-3- SNS等を活用した PR
- 4-3- 新たな情報発信ツールの構築  
(市内の情報が集約されたマップやパンフレットの作成、市民レポーターズの採用等)



5 - 3 . 行動計画

リーディングプロジェクト **01**

「サーフィンするなら日向に泊まろう！」 **サーフトown向上プロジェクト**

	取り組み内容	主な推進主体
<p><b>STEP1</b></p> <p>受入体制や環境を整える！</p>	<p><b>サーフショップと宿泊施設が情報交換をする「場」づくり</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的なミーティング（情報連絡）</li> </ul> <p>↓</p> <p><b>既存情報の相互発信</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光協会、宿泊施設、サーフショップ等に宿泊施設やサーフショップ、サーフィン体験、食に関するパンフレット等を置き、情報発信</li> <li>SNSやヒュー！日向サイトを活用し、上記の情報を発信</li> <li>予約申込等の仕組み（ネットワーク）を構築</li> </ul> <p>↓</p> <p><b>駐車場等の利用環境の改善</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場の利用実態の把握、課題整理</li> <li>改善策及びサービス向上に向けた取り組みの検討・運用管理方法の見直し</li> </ul> <p>↓</p> <p><b>【数値目標】</b> サーフィン利用客数</p>	<p>市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サーフショップ</li> <li>宿泊施設</li> </ul> <p>サーフショップ 宿泊施設 観光協会</p> <p>市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サーフィン連盟</li> <li>サーフショップ</li> </ul>
<p><b>STEP2</b></p> <p>新たなサーフィン客を増やす！</p>	<p><b>サーフィンと宿泊等がセットになった商品の開発</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サーフィン体験や宿泊等をセットにした商品の開発</li> <li>商品化に向けたモニターツアーの企画、実施</li> <li>送迎方法の検討、公共交通機関（鉄道、高速バス等）と連携した商品の検討</li> <li>飲食店と連携した商品の検討</li> </ul> <p>↓</p> <p><b>サーフトown日向らしい景観づくり</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海岸沿道から海岸への眺望の確保</li> <li>サーフィンが感じられる景観の形成（サーフボードのサイン、海岸沿道の植栽等）</li> <li>サーフトown日向のメニューメント設置</li> </ul>	<p>宿泊施設 サーフショップ 飲食店 観光協会 交通事業者</p> <p>市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民</li> <li>道路管理者</li> </ul>
<p><b>STEP3</b></p> <p>リピーターを増やす！</p>	<p><b>新たな情報発信ツールの作成とPR</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マップやパンフレットの企画、製作、配布</li> <li>SNSやヒュー！日向サイト等既存のツールと新しい情報発信ツールの連携</li> </ul> <p>↓</p> <p><b>サーフィンに対応できる宿泊施設へのグレードアップ</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊施設等におけるウエットスーツやボードの保管場所整備に対する補助</li> </ul> <p>↓</p> <p><b>【数値目標】</b> 観光入込客数</p> <p>↓</p> <p><b>【数値目標】</b> 市内宿泊者数</p>	<p>宿泊施設 飲食店 サーフショップ サーフィン連盟 観光協会</p> <p>市 宿泊施設</p>



## リーディングプロジェクト 02

# 「ビーチのいろんな楽しいを提供しよう！」ビーチレジャー展開プロジェクト

	取り組み内容	主な推進主体
<p><b>STEP1</b></p> <p>できることから始めよう！</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>ビーチの使い方検討</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーチでできること、将来やりたいことを記載したビーチカレンダーの作成</li> <li>・ビーチに関するイベント情報の整理と掲載</li> <li>・ビーチでの遊びの達人になるための読本の作成</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>未活用ビーチの活用</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お倉ヶ浜総合公園裏等の未活用ビーチの活用</li> <li>・サーフショップ等が主催する小規模なサーフィン大会の通年開催</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>ビーチでの活動機会創出</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーチでの津波避難訓練の実施</li> <li>・砂浜運動会等市民向けイベントの開催</li> <li>・ビーチへの遠足の実施</li> <li>・ビーチクリーン活動の実施</li> <li>・地引網体験</li> <li>・通年でのビーチでの活動機会創出</li> </ul> </div> <div style="width: 45%; border-left: 1px solid black;"> <p style="text-align: center;"><b>ビーチの使い方を 広げる環境整備</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント広場の整備</li> <li>・バーベキューサイトの整備</li> </ul> </div> </div>	<p>観光協会</p> <p>サーフィン連盟 ・サーフショップ</p> <p>市 ・市民団体 ・市民</p>
<p><b>STEP2</b></p> <p>できることを増やそう！</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>多様なビーチイベントの開催</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂浜美術館の開催</li> <li>・松葉掻きと連携したキャンペーン</li> <li>・長いビーチを活かしたギネス記録挑戦</li> <li>・仮設コンテナ、仮施設等によるビーチイベント</li> </ul> </div> <div style="width: 45%; border-left: 1px solid black;"> <p style="text-align: center;"><b>ビーチを快適にする 環境整備</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフセービング組織体制の構築</li> <li>・ビーチハウスの整備</li> <li>・レストラン等の飲食店の導入</li> </ul> </div> </div>	<p>観光協会 ・市 ・市民</p> <p>市</p>
<p><b>STEP3</b></p> <p>ビーチを使いこなそう！</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;"><b>ビーチレジャースポットとしての全国知名度獲得</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国自然敬愛サミットin日向等のビーチを愛する心を育む活動の開催</li> <li>・ビーチに関する活動の定期的な情報発信</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;"><b>【数値目標】 お倉ヶ浜利用者数</b></p> </div> <div style="width: 45%; border-left: 1px solid black;"> <p style="text-align: center;"><b>ビーチを快適にする 環境整備</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフセービング組織体制の構築</li> <li>・ビーチハウスの整備</li> <li>・レストラン等の飲食店の導入</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;"><b>【数値目標】 一人あたりの観光消費額</b></p> </div> </div>	<p>市 ・観光協会 ・市民団体</p> <p>市</p>



ヒュー！日向  
Hinata

リーディングプロジェクト 03

「食とにぎわいを日向市内へ！」 日向波めし（日向飯）開発プロジェクト

	取り組み内容	主な推進主体
<p><b>STEP1</b></p> <p>海辺に食を！ まずはサーファーの腹を満たす</p>	<p><b>海辺の食メニューの充実</b></p> <p>海辺を利用する人対象</p> <p><b>既存の食を海辺へデリバリー</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内飲食店の移動販売車等による販売</li> <li>市内飲食店の、海辺への注文・配達制度の導入</li> </ul> <p><b>日向波めし（日向飯）の開発</b></p> <p><b>新商品開発チーム発足</b></p> <p>↓</p> <p><b>新商品開発開始！</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>20代女性をターゲットにしたおしゃれなメニュー開発</li> <li>サーフィンPRメニューの開発</li> <li>へべすを活かした食の開発</li> <li>サーフドッグの改良</li> <li>野菜スティック等手軽に食べられる軽食の開発</li> </ul>	<p>市内飲食店・市</p> <p>、策定会議メンバー有志・市内飲食店</p> <p>・開発チーム</p>
<p><b>STEP2</b></p> <p>海辺で楽しむ日向波めし！ 海辺に足を運んでもらうきっかけに</p>	<p>海辺に市民・観光客を呼び込む</p> <p><b>BBQ社会実験</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お舟出の湯テラス等を活用し、BBQ導入実験</li> <li>BBQセット貸出実験</li> </ul> <p>↓</p> <p><b>海辺にBBQスポットを</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BBQができる施設整備</li> <li>BBQ場の運営</li> <li>日向肉と野菜のセットメニューの提供</li> </ul> <p><b>仮設イベントと合わせた試験販売</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海辺仮設イベントでの試作販売や食のコンテストの開催</li> <li>ひょっとこ祭りでの試作販売</li> <li>サーフィン大会での試作販売</li> </ul> <p>↓</p> <p><b>新たな“日向波めし”本格販売 開始！</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海の家での日向波めしの販売</li> <li>市内飲食店やホテルと連携したメニューの提供</li> <li>ヒュー！ランチ企画等、おしゃれな販売戦略の企画</li> </ul>	<p>、市</p> <p>・農協、漁協</p> <p>開発チーム・市</p> <p>開発チーム</p> <p>・観光協会</p> <p>・日向物産振興協会</p> <p>・農協、漁協</p> <p>・市</p>
<p><b>STEP3</b></p> <p>日向波めしや日向の食材を求めまちへ！</p>	<p><b>【数値目標】観光消費額</b> ←</p> <p><b>食をきっかけに市内を回遊</b></p> <p><b>市内回遊を誘導するイベントの実施</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内飲食店をめぐるパルの開催</li> <li>海辺の施設利用者に市内飲食店クーポン配布</li> </ul> <p><b>海辺と合わせて販売場所のPR</b></p> <p>【具体内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>店舗に取扱店舗を掲載</li> <li>市内店舗と取扱日向波めし（日向飯）を掲載したマップ作成</li> </ul> <p>→ <b>【数値目標】観光入込客数</b></p>	<p>観光協会</p> <p>・開発チーム</p> <p>・市内飲食店</p> <p>商工会議所</p> <p>・開発チーム</p> <p>・市内飲食店</p> <p>・観光協会</p>



# リーディングプロジェクト 04

## 「日向の海をもっと身近に！」日向ビーチファン拡大プロジェクト

	取り組み内容	主な推進主体	
<b>STEP1</b> 海をもっと知ろう！	<b>日向の海をもっと身近に感じる</b> <b>海の勉強会の開催</b> 【具体内容】 ・市内小学校5年生に募集をかけて海の安全教室+サーフィン教室を実施 ・消防及び警察から海での安全について学ぶ ・サーフィンを通じて海の良さ、危険性を学ぶ ・地域学習や海の学習を踏まえて日向の海を知り、興味をもつきっかけをつくる <b>海辺でのイベントの実態調査</b> 【具体内容】 ・年間を通じて海辺を活用したイベントについて、現状を把握 ・イベントの特徴や現状を踏まえてPR方法などを検討	<b>日向の海を応援</b> <b>ヒュー日向の活用</b> 【具体内容】 ・ヒュー日向HPに、海の勉強会や海辺イベント情報、他プロジェクトをPRするページをリンクさせる ・誰もがすぐに情報を知ることができるようなサイトやSNSの仕様を採用 <b>【数値目標】</b> <b>ヒュー日向HP閲覧者数</b>	<b>主な推進主体</b> サーフィン連盟 ・策定会議メンバー有志 ・消防署、警察署 ・市内小学校 ・市 策定会議メンバー有志 ・市 ・自治会、町会 市 ・観光協会 ・策定会議メンバー有志
<b>STEP2</b> 海をもっと感じよう！	<b>海の勉強会の受け入れ体制づくり</b> 【具体内容】 ・海の勉強会の定期開催 ・親子、ママ、PTA、高齢者などを対象とした、海の勉強会 ・上記を企画、実施しながら、体制づくりを進める <b>イベントや講座などの新規企画！</b> 【具体内容】 ・新規イベントの開催（ハマグリ稚貝放流、アカウミガメ生態講座、砂浜大運動会、砂の造形大会、森林～海岸ランニング等） <b>【数値目標】</b> <b>海辺の教室開講数</b>	<b>ファン倶楽部サイト構築</b> 【具体内容】 ・海情報をSNS等を活用してすぐにアップできる仕組みを構築 ・市民レポーターズ募集 ・市民レポーターズが、様々な情報を発信	サーフィン連盟 ・策定会議メンバー有志 ・小学校 ・消防、警察 ・市 策定会議メンバー有志 ・市 ・自治会、町会 市 市民 ・策定会議メンバー有志
<b>STEP3</b> 海をもっと応援しよう！	<b>いつでも誰もが海辺を楽しめる体制の整備</b> 【具体内容】 ・サーフショップ等の案内 ・海の勉強会の案内や申し込み ・サーフィンやビーチスポーツの道具の貸し出し ・統一したデザインの案内板の設置 ・誰もがすぐに分かるビーチのネーミング ・他地域のサーファーの要望の受け入れ	<b>市内外含む日向の海ファンが参加できるSNS等、情報発信の充実</b> 【具体内容】 ・#日向、#ビーチなどでSNSを広く活用し情報を全国に発信 ・ケーブルテレビやタウン誌等でコンスタントに日向の海情報を発信 ・日向の海を題材にしたフォトコンテスト ・ファンサイト等の開設	・サーフィン連盟 ・策定会議メンバー有志 ・小学校 ・消防、警察 ・市 市 観光協会 ケーブルテレビ 市民 ・策定会議メンバー有志



## 6. 取り組みの実行体制・進行管理・評価の方法

### 6-1. 実施スケジュール

基本方針	振興施策・取り組み	策定スケジュール		
		短期（～3年）	中期（～5年）	長期（～10年）
1-1 世界に誇れるサーフィンの拠点づくり	サーフスポットの拡充（駐車場の拡張、ビーチハウス整備）	駐車場拡張	ビーチハウス整備	
	サーフスポット同士の動線の確保（ボードウォークや歩道の整備）		段階を踏んで整備	
1-2 海岸を安全に気持ちよく利用するためのルールづくり	海辺のエリア分けや津波発生時の避難先の周知（看板の設置等）	設置		
	マナーに関するルールづくり（ビーチクリーンの実施等）		定期的実施	
1-3 国内外の「日向ファン」に来てもらうための取り組み	国内外のサーフィン大会・合宿の誘致		定期的実施	
	サーフィン体験プログラムの実施（ビギナー向けサーフィンスクール）	導入検討	定期的実施	
1-4 移住の受け入れに向けた環境づくり	サーファー移住相談会の開催（都市部での移住相談会）		定期的実施	
	移住促進に向けたお試し移住の実施（お試し移住拠点、サーファーズハウスの整備）		整備	運営
	市内企業におけるサーファーの働きやすい就業環境の整備		定期的実施	
2-1 誰もが日豊海岸を楽しめる海辺の環境づくり	憩いの場の創出（木陰や休憩場所、催し物スペースの整備、飲食店やカフェ等の民間企業の誘致）		整備	運営
	多様なレジャーの場の創出（ビーチスポーツ、マリッジ、ヨガ、キャンプ、BBQ等の環境整備）	整備		運営
	人が集う場の創出（イベント広場の整備）	整備		運営
	散策ルートの形成（ウォーキング、トレッキング等の動線整備）		整備	
2-2 海辺の環境を活かしたイベントの開催	ビーチイベントの開催（ビーチスポーツ体験プログラムの提供・開催）	企画		定期的実施
	スポーツイベントの開催（お倉ヶ浜総合公園と連携したイベント等）		企画	定期的実施
	音楽イベントの開催		企画	定期的実施
	食と絡めたイベントの開催（数店舗まわられるバルの実施、弁当チャンレンジショップ等）	企画		定期的実施
	ビーチに関するイベント情報の整理・集約・発信（ビーチカレンダーの作成等）			定期的に更新
2-3 私流リラクスタウンを支えるサービスの向上	管理事務所、ビーチスポーツの用具貸出・用具庫の整備（パラソル、浮き輪、テーブル等の貸出）	整備		
	市内飲食店デリバリー制度の導入（市内飲食店の一括予約注文と配達システムの確立）	導入検討		運用
	ビーチナーサリーの導入（海辺の子ども一時預かり場所の設置等）	導入検討	整備	運用
	海辺のネット環境の構築（wi-fi環境の充実）	導入検討		運用
3-1 海岸へのアクセス性・周辺地域との回遊性の向上	日向ICから浜辺までのアクセス確保（サインの充実等）		整備	
	公共交通による来訪者のアクセス性の確保（観光タクシー運行助成の拡充等）		企画導入	
	ビーチスポット間、市内観光地間、中心市街地間のアクセス強化（サインの整備、移動手段の充実等）		整備	
3-2 思わず立ち寄り、泊まり、また来たくなる環境づくり	日豊海岸らしい景観の形成や演出（眺望確保、誘導サインの統一等）		整備	
	日豊海岸で楽しめる食の開発（日向飯 日豊海岸バージョン等）	企画		販売
	サーファー向けの宿泊施設、宿泊プランの整備（浜直結ホテル、ホテルにサーフボードが置けるスペースの整備、宿泊とサーフィン体験がセットになった宿泊プランの提供等）	整備		運営
	市内宿泊施設の充実（観光客を対象としたホテル等の誘致等）			誘致
	宿泊施設に対するリフォーム助成金の導入	導入検討		運用
3-3 タイアップによるサーフィン等を活かした商品開発	公共交通機関とのタイアップによる企画乗車券等の開発	企画		
	海辺学習やサーフィン体験を盛り込んだ修学旅行の誘致		企画	
	サーフィンと市内観光地を絡めたツアーの企画	企画		
4-1 サーフィン人口の拡大・海に対する理解の浸透	海辺を活かしたスポーツ合宿のための環境整備		整備	
	市民サーファーの育成（小・中学校等でのサーフィン教室の開催）	導入検討		実施
	環境学習の実施（日豊海岸/アカウミガメ/ハマグリと碁石/漂流物 等）	導入検討		実施
	海の安全学習の実施（安全講習、避難訓練等の実施）	導入検討		実施
4-2 市民参加型による海辺イベントの開催	サーフィンを推奨する事業所等への支援		導入検討	
	市民参加による日向市のPR（ギネス記録への挑戦）	企画		定期的実施
4-3 世界に向けた「リラックスサーフタウン日向」の発信	市民総出によるビーチクリーンの実施		継続的・定期的実施	
	リラックスサーフタウン日向のブランディング（グッズ、コラボ商品開発等）		企画	販売
	「ビュー日向！」HPの継続的な更新		継続的・定期的実施	
	SNS、VR技術等を活用したPR		継続的・定期的実施	
4-4 リラックスサーフタウン日向の実行体制の構築	クルーズ船の観光客や乗組員へのPR		継続的・定期的実施	
	新たな情報発信ツールの構築（市内の情報が集約されたマップやパンフレットの作成、市民レポーターズの採用等）	企画・制作		配布・拡散
	実行体制の構築（策定会議メンバーを中心とした実行体制/事務局機能の構築/情報共有・取り組みの実行・進捗管理・構想の見直し）	構築		運営



## 6 - 2 . 事業手法の検討

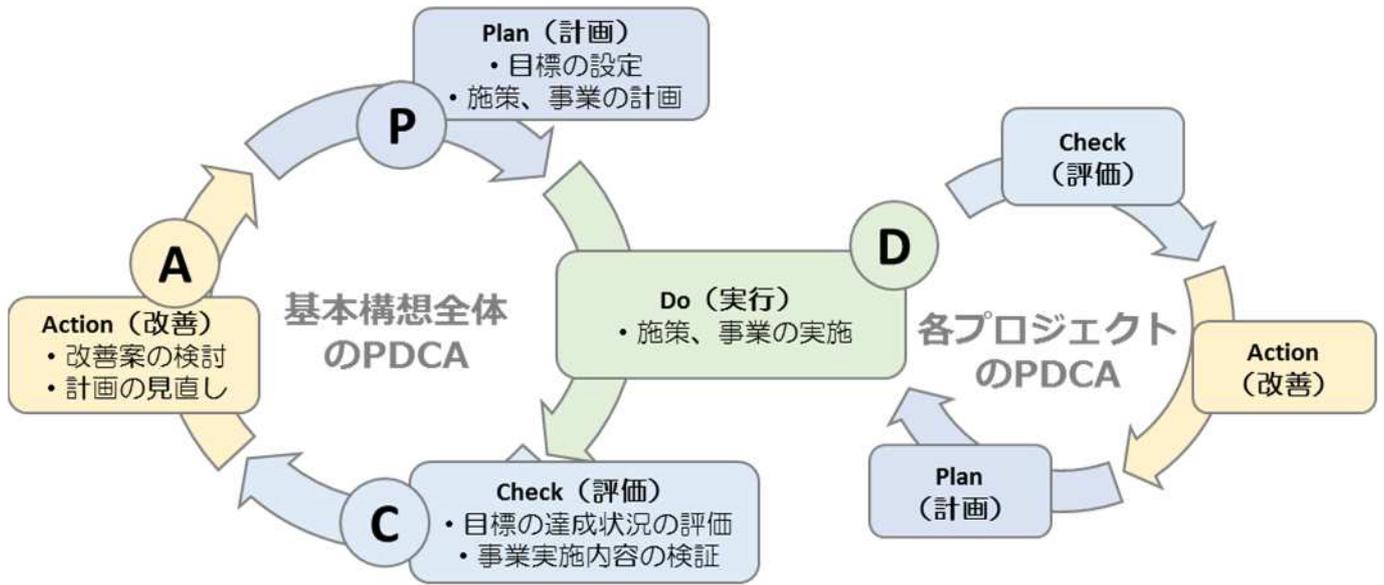
ビーチスポットの整備等の「サーフタウン日向」の実現に向けては、多様な施設整備が必要となり、賑わい創出に向けた民間の創意工夫を取り入れた管理運営が必要となることから、以下のような公民連携手法を積極的に活用し、財政負担の軽減を図る。

官民連携手法と官民の役割分担例

官民連携手法	概要	設計 建設	維持 管理 運営	資金	所有
直営	公益施設部分は公共で整備し、公共で維持管理・運営を行う	公	公	公	公
公設民営 (指定管理者・ 業務委託)	公益施設部分は公共で整備した上で、民間企業の創意工夫、ノウハウで維持管理・運営を行う	公	民	公	公
P F I	公共施設整備を PFI 法に基づく事業として実施する。	民	民	民	公
売却方式 定期借地方式	民間に土地を売却(貸付)した上で民間の判断で事業を実施する。法的規制または契約で条件を付す	民	民	民	民 (公)



### 6 - 3 . 進行管理

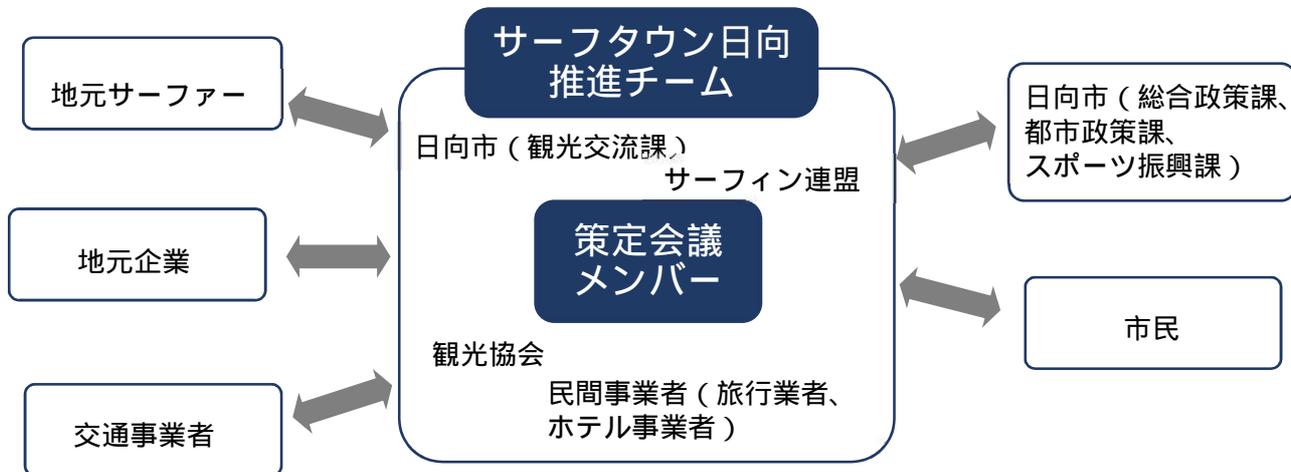


	基本構想全体の PDCA	各プロジェクトの PDCA
<b>P</b>	・現状や課題を踏まえ、今後取り組むべき施策を検討する。(本構想)	・基本構想で掲げた目標に向けたプロジェクトを検討する。(ハード整備プロジェクト・リーディングプロジェクト)
<b>D</b>	・取り組みを実行に移す。(プロジェクトの実行)	・取り組みを実行に移す。(施策、事業の実行)
<b>C</b>	・市と市民が協働で、取り組みの進捗を評価する。	・プロジェクト関係者で、取り組みの進捗を評価する。
<b>A</b>	・評価を踏まえて、うまく進んでいないところは改善する。	・基本構想が見据える目標に向け、プロジェクトの目標、事業内容の見直しを行う。



## 6 - 4 . 実行体制

サーフタウン日向の実現に向けた施策・取り組みは、策定会議メンバーが中心となり推進していく。





## 6 - 5 . 実現に向けた今後の課題

サーフタウン日向を今後推進していくにあたり、さらなる検討が必要な項目を下記にあげる。

### 1 . 関係者・関係機関・関係法令との協議・調整

- ・新たなビーチスポットの整備に向けたお倉ヶ浜管理者との調整
- ・後背に位置する国有林管理者と、開発可否等の調整
- ・関係法令（都市計画法・自然公園法・森林法・海岸法等）との調整
- ・県指定天然記念物のアカウミガメの産卵地であるお倉ヶ浜砂浜部における開発と保全の両立（アカウミガメ研究会との調整）

### 2 . 具体・詳細な調査・計画・設計

- ・防災性、法規制、自然環境等を踏まえた具体的な整備計画の策定
- ・利用者数を考慮した整備位置、規模の検討

### 3 . 整備・運営方法の具体化

- ・民間事業者へのサウンディング調査等より、民間企業の事業参画可能性を検討
- ・民間事業者が参画しやすい環境づくり（PFI・PPP 支援制度の充実等）
- ・補助事業等の活用等により、ビーチスポット整備費用や民間事業者支援費用を確保

### 4 . 地元の機運の醸成

- ・市内収益施設の充実等、日向市が稼げる仕組みづくりにより、地元企業のやる気向上

### 5 . 周辺及び市内他エリア、周辺市町との連携

- ・サーフィン関係者・関係企業と海辺店舗との連携、市内企業との連携、日向市と周辺市町と連携するための情報共有ツールや場の創出

### 6 . 定住・雇用・地域経済活性化のサイクル

- ・移住・定住の推進に向けた市内産業の活発化、企業の誘致、雇用の創出等地域経済の活性化サイクルの定着



# 参考資料

## 参考1 サーフトウン日向基本構想策定会議委員名簿

### 策定会議委員

	所 属	氏名
会長	(一社)日向市観光協会	松葉 藤吉
	(一社)日向市観光協会事務局長	山本 達雄
	宮崎県ホテル・旅館生活衛生同業組合日向支部	長友 宏八郎
	日向市民宿業組合	橋口 万喜子
	宮崎県飲食業生活衛生同業組合日向支部	田崎 澄
	日向商工会議所	黒木 正一
副会長	日向商工会議所 女性会 会長	山本 恵子
	ひむかBiz センター長	長友 慎治
	日本政策金融公庫延岡支店長	奥園 賢史
	宮崎大学地域資源学部講師	田中 雄之
	平岩まちづくり協議会	甲斐 靖朗
	日向市サーフィン連盟	甲斐 公祐
	サーフショップ代表	伊久良 城二
	サーフショップ代表	窪田 聡
	市民公募	友石 司
	市民公募	海野 洋光



オブザーバー

	所 属	氏 名
	宮崎県日向土木事務所用地課 管理担当	弓削 仁
	商工観光部長	清水 邦彦
	市総合政策課 政策推進係長	麻田 悦子
	市都市政策課課長補佐兼都市企画係長	土谷 和利
	市スポーツ振興課 スポーツ振興係長	寺田 雅彦

事務局

	所 属	氏 名
	市観光交流課長兼スポーツタウン推進室長	長山 尚広
	市観光交流課 観光推進係長	佐藤 喜一郎
	市観光交流課課長補佐兼観光施設係長	有田 裕美
	市スポーツタウン推進室スポーツタウン推進係長	志田 進一
	市スポーツタウン推進室サーフタウン交流推進係長	葉上 耕大朗
	市スポーツタウン推進室サーフタウン交流推進係	小城 優太
	パシフィックコンサルタンツ株式会社	伊東 博史
	パシフィックコンサルタンツ株式会社	亀井 敏裕
	パシフィックコンサルタンツ株式会社	関 展嵩
	パシフィックコンサルタンツ株式会社	高木 希望
	パシフィックコンサルタンツ株式会社	近藤 純子
	パシフィックコンサルタンツ株式会社	中島 隆志



## 参考2 サーフトOWN日向基本構想策定会議スケジュール

	日 程	議 題 等
第1回	平成29年4月6日(木)	・サーフトOWN日向のイメージ、将来像 (ワールドカフェ形式)
サーフィン 体験	平成29年5月27日(土)	・市長、商工会会頭、策定会議委員が参加した サーフィン体験を実施
第2回	平成29年5月29日(月)	・みなさんのできる“サーフィン× ”を 考えよう!(ワークショップ形式) ・市民もお客さんも楽しく過ごせるビーチを 考えよう!(ワークショップ形式)
第3回	平成29年7月5日(水)	・基本構想骨子案(意見交換形式) ・優先する取り組みと行動計画(リーディング プロジェクト)(ワークショップ形式)
第4回	平成29年8月9日(水)	・基本構想案(意見交換形式) ・行動計画(リーディングプロジェクト) (ワークショップ形式)



### 参考3 サーフタウン日向基本構想策定会議委員が思い描く「サーフタウン日向」

～第1回策定会議で話し合った意見より抜粋～

#### 住むところ！

- ✓ 人が暖かく、住みやすい
- ✓ 山、海、川、町が全部そろうところ
- ✓ ひょっとこ祭りなど、イベントがたくさん

#### 観光地としても有名！

- ✓ 大御神社や馬ヶ背など、いろんな観光資源がある
- ✓ リゾート、非日常、田舎感を味わうことができる
- ✓ 商業・観光振興により、地元還元されるようなまち
- ✓ 滞在型の施設が充実している
- ✓ 日向市民全員が「サーフタウン」と認識している  
観光産業を栄える

#### 家族みんなで楽しめる！

- ✓ 老若男女楽しめる
- ✓ 市民の人も行きやすい場所
- ✓ 若者が寄りやすい町
- ✓ 家族で来られる、楽しめる
- ✓ 年代を問わずみんなが行ってみたい所
- ✓ みんなが仲良く出来る場所
- ✓ 沿岸沿いをいいイメージに
- ✓ 海が道路から見え、海のそばに飲食施設がある

#### 美味しい食べ物がたくさんある！

- ✓ 安く新鮮で美味しいものが食べられる
- ✓ 日向ならではの食を楽しむ場所がある
- ✓ 美味しいものを食べられる場所が充実している
- ✓ 季節ごとの旬な食材がある



## サーフィンの大会が充実している！

- ✓ 毎年安定して大会が開催される
- ✓ サーフィンスクールを展開したい
- ✓ 市内より、市外の人が多い
- ✓ マリンスポーツスポットやナイトサーフィンが充実している
- ✓ 一年中サーフィンが楽しめる場所
- ✓ ゆっくり波に乗れる、常に波がある

## サーフィンをする環境が整っている！

- ✓ いつ来ても綺麗な海、砂浜がある
- ✓ サーフィンに来て、市のあちらこちらに行って楽しめる
- ✓ 伊勢ヶ浜とお倉ヶ浜を橋でつなぎ海が見えるようにしたい
- ✓ 関連施設が整備されてサーファー客が集まり様々な産業が栄える
- ✓ 温泉（健康ランド）やビーチロードなどがある

## どこでもサーフィンを楽しめる！

- ✓ 日向の良い波を楽しんでもらえるサーフスポットがいくつもある
- ✓ 海が空いており、混雑していない
- ✓ ローカルサーファーも市外から来たサーファーも楽しめるサーフスポットがいくつかある

## サーフィンだけでなく 多様なスポーツが楽しめる！

- ✓ サーフィンだけでなく楽しめる所「ビーチタウン」
- ✓ サーファーでなくても楽しめる
- ✓ サイクリングロード、魚釣りも楽しめる
- ✓ ビーチハウス、コテージ、休める場所がある